

植物関連雑誌のタイトル紹介

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-09-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Nakata, Masashi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00055409

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



植物関連雑誌のタイトル紹介

(括弧内は頁数を示す。雑誌によっては編集部で植物自然史関係のもののみ選択した。雑誌の閲覧を許可された富山市科学文化センター、富山県中央植物園に感謝いたします。掲載を希望される方は、雑誌を編集部までお送り下さい。)

○ 知床博物館研究報告 第22集 2001年3月

(〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町49 斜里町立知床博物館)

渡辺展之・丹羽真一・渡辺 修：知床ガッタンコ沼に生育するクロバナロウゲとトキソウの生育環境と個体群構造(1-8) / 渡辺 修：北海道産主要セリ科検索図譜(9-19) / 丹羽真一・渡辺 修・渡辺展之：海岸植物における花の形態と訪花昆虫タイプとの関係(21-28)

○ 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告 第23号 2001年3月

(〒080-1403 北海道河東郡上士幌町字糠平 上士幌町ひがし大雪博物館)

渡辺展之・丹羽真一・渡辺 修：札内川中流域におけるケショウヤナギ3林分の推移(39-47) / 丹羽真一・渡辺展之・渡辺 修：札内川流域におけるケショウヤナギ成木の死亡例(49-52) / 丹羽真一・渡辺展之・渡辺 修：札内川中流域の植物相：ケショウヤナギ林分の発達に伴う変化(53-66)

○ 美幌博物館研究報告 第8集 2001年3月

(〒092-0002 北海道網走美幌町字美禽 253-4 美幌博物館)

丹羽真一・渡辺展之・渡辺 修：北海道東部、美幌町におけるクリンソウ2個体群の構造比較と種子繁殖(21-30) / 五十嵐 博：美幌町のスミレ(31-39)

○ 青森県立郷土館調査研究年報 第25号 2001年3月

(〒030-0802 青森県青森市本町2丁目8-14 青森県立郷土館)

柿崎敬一・高谷泰三郎・齋藤信夫・小林範士・太田正文：小川原湖周辺の植物(1)(5-6) / 柿崎敬一・太田正文：下北半島東部のコケ植物(101-114)

○ 福島生物 No.44 2001年8月

(〒960-1596 福島県福島市金谷川1 福島大学教育学部生物学教室内 福島県生物同好会)

阿部 武：磐梯山の花(21-31)

○ 茨城県自然博物館研究報告 第4号 2001年3月

(〒306-0622 茨城県岩井市大字大崎700 ミュージアムパーク茨城県自然博物館)

廣瀬孝久・太田俊彦・中川久夫・小幡和男・櫻井稔郎・高野信也：岩井市における雑木林の植物相について(131-144) / 小幡和男：宇田川榕庵がシーボルトに贈ったアキタブキの拓本(145-150) / 小幡和男：ライデン国立植物標本館から寄贈されたシーボルト標本(151-152, 3 plates)

○ 群馬県立自然史博物館研究報告 第5号 2001年3月

(〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1 群馬県立自然史博物館)

大森威宏：群馬県未記録植物数種について(109-111) / 大森威宏：“赤城山産”のラベルをもつサンショウバラの標本について(113-114)

○ 千葉県立中央博物館自然史研究報告 第6巻第2号 2001年3月

(〒260-8682 千葉県千葉市中央区青葉町955-2 千葉県立中央博物館)

原田 浩：日本産被果地衣類分布ノート(3). 日本新産の *Pyrenula concatervans* (Nyl.) R.C.Harris in Tucker & R.C.Harris (英文)(139-142) / 原田 浩・大場達之：サハリン産の地衣類について(英文)(143-146) / 平田和弘：佐倉市における森林優占型の分布と地形(147-156)

○ 日本シダの会会報 Vol.3

(日本シダの会 事務局：〒156-8502 東京都世田谷区桜ヶ丘 1-1-1 東京農業大学森林総合科学科 中村武久)

No.25 2001年4月—高良美代子・高良拓夫：石川岳（沖縄島）のシダ，2000年の結果（1-2）／川畑政親：セイタカシロヤマシダ（仮称）（2-6）／栗田都男：恵那市中津川市岩村町のシダ（6-8）／田村 淳：ムクゲシゲシダの包膜上に毛はあるか？（8-9）／山本 明：シダ類観察ノート（21）（9-12）／細倉哲穂：御殿場市のシダ（12-19）／林 二良：「日本のシダ植物図鑑」第8巻の刊行された後で，珍しいシダが見つかりました（19-20）／山田恒人：北国からのシダ便り 葉身の枯れかたについて（予報）（21-22）／合田勇太郎：北海道シダ回想録（12）（22-24）

No.26 2001年8月—君塚芳郎：シダの旅（その2）（1-5）／倉本嗣王：「羊歯」のおもい（5-6）／菅野正夫：わらび糊（6-8）／能勢 保：シッキムで見たシダと現地事情（8-13）／高良美代子・高良拓夫：ネクマチ岳（沖縄島）のシダ（13-14）／川畑政親：続・セイタカシロヤマシダ（仮称）（14-17）／山本 明・中山博子：神奈川県の新セコクモウクジャク（18-19）／藤本沙由美・阿部代始子・小久保恭子・佐々木シゲ子・中山博子：三浦半島神武寺におけるハチジョウベニシダの芽立ちと形態変化（19-23）／玉利文吾：渡良瀬遊水池のハナヤスリ（23-28）／合田勇太郎：北海道シダ回想録（13）（28-30）／加藤僊重：牧野標本館所蔵の矢野コレクション（30-32）／中池敏之：インドにオオコケシノブ（32）

○ 食虫植物研究会々誌 52巻

(〒102-8159 東京都千代田区富士見 1-9-20 日本歯科大学生物学教室内 食虫植物研究会)

1号（通巻175号）2001年1月—田中桃三：ケープタウン旅行記（1-2）／柴田千晶・渡辺弘晴：第2回ブラジル調査旅行—雨期のブラジル—（2-7）／袖川芳之：ブラジル産食虫植物の基礎知識（7-10）／渡辺弘晴：水槽撮影と拡大撮影について（講演要旨）（10-13）／外山雅寛：オオタヌキモとタヌキモの開花の生態について（13-16）／松下博彦：愛媛県東予地方の食虫植物自生地（16-17）／小宮定志：コウシンソウを見守って50年（17-21）

2号（通巻176号）2001年4月—倉田重夫：スマトラ島（インドネシア）およびミンダナオ島（フィリピン）産ウツボカズラの2新種（30-34）／岡田 章・川崎國雄：沓町田湿地におけるナガバノイシモチソウ（シロバナ）の発芽数と成育数の変化について（35-38）／岡田 章・川崎國雄：沓町田湿地の観察記録（2000年）（38-41）／外山雅寛：北海道でチビヒメタヌキモを発見（第1報）（41-42）／小坂田泰直：Serra NegraとCaburai山の植物（42-43）

3号（通巻177号）2001年7月—小宮定志：ムジナモ栽培についての歴史的経過（62-67）／岡田 章・川崎國雄：沓町田湿地におけるナガバノイシモチソウ（シロバナ）の発芽と成長数の調査（67-69）／柴田千晶：ボルネオ島のネペンテス観察（69-74）

4号（通巻178号）2001年10月—植松 茂：大都市札幌市内におけるタヌキモの大群落地新発見（81-82）／若林 浩：オーストラリア・ノーザンテリトリー（北部準州）調査旅行記（82-89）／柴田千晶：2001年庚申山見学会の記録（89-91）／柴田千晶・小宮定志：米国南東部の食虫植物を訪ねて（91-94）

○ 櫻の科学 No.8 2001年11月

(〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-19 麹町山崎ビル 財団法人日本さくらの会)

丹羽美乃理・中村輝子：ヤマザクラの種子発芽における，内果皮中のアブシジン酸含有量変化（2-5）／千木容：サクラ亜属の組織培養におけるTG-19の影響（16-19）／川崎哲也：荒川堤で採集された *Prunus lannesiana* f. *sumizome* Wilson の正体（20-24）／川崎哲也：荒川堤で採集された *Prunus lannesiana* f. *banriko* Wilson の正体（25-28）／勝本俊雄：新宿御苑のサクラの同定調査（35-49）／松谷 茂：京都府立植物園のサクラ（50-63）／石川晶生・梅木信一・山岡好夫：玉川学園のサクラ類とその巨樹（64-67）

○ 自然環境科学研究 Vol.14 2001年12月

(〒215-0001 神奈川県川崎市麻生区細山 8-8 財団法人平岡環境科学研究所)

湯澤陽一：日本のヤスデゴケ属（ヤスデゴケ科，苔類）II（1-47）／福田聡子・南 佳典・沖津 進：奥秩父水晶谷溪流周辺部におけるサワグルミおよびサワラの更新（67-72）／田中敦司・西村直樹：日本産ヒラゴケ属蘚類における地理分布と石灰岩地との関係（英文）（73-87）／河島綾子・真山茂樹：阿寒湖の珪藻（8）

羽状類一縦溝類: *Cymbella*, *Encyonema*, *Gomphoneis*, *Gomphonema*, *Gomphosphenia*, *Reimeria*) (89-109) / 近田文弘・梅田市美: 植生と植物相に基づく能代市風の松原海岸林の環境保全 (119-136) / 木口博史・立石幸敏・芦田喜治: 鹿島槍・爺が岳周辺の蘚類 (137-147) / 岩片紀美子・渡辺靖子: 大山 (神奈川県) の蘚類 (149-160) / 岡本達哉・松川直寛: 三嶺の地衣類相 (161-168) / 浦野守雄・大澤 進: 岩手県産タケ類とツノゴケ類チェックリスト (169-175)

○ 生態環境研究 第7巻第1号 2000年12月

(〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町32 横浜合同庁舎6階 財団法人国際生態学センター)

唐沢重孝・原田 洋: 土壌動物からみた環境保全林の自然回復過程 (1-9) / 阿部聖哉: 都市近郊における孤立林の植生タイプと越冬期鳥類相との関係 (11-16) / 鈴木伸一: 関東地方におけるコナラ二次林の分布に関する植物社会学的研究 (英文) (17-24) / 村上雄秀: 日本の丘陵地生マント群落 (25-71) / 目黒伸一: 環境保全林における生育環境と樹木の生育挙動 (73-80) / 矢ヶ崎朋樹・佐々木 寧: 河川環境調査に関わる植生情報の問題点とその検討—「河川水辺の国勢調査」植生調査データについて— (89-103)

○ 横須賀市博物館研究報告 (自然科学) 第48号 2001年3月

(〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台95 横須賀市自然・人文博物館)

大森雄治・小林純子: タイヨウフウトウカズラ *Piper postelsianum* Maxim. の花部解剖学 (英文) (35-43)

○ 富士竹類植物園報告 第45号 2001年8月

(〒411-0932 静岡県駿東郡長泉町南一色885 日本竹笹の会)

沼田 真: 竹林生態学雑録, XIV (2-4) / 小林幹夫: 世界と日本のタケ類の系統進化の道筋を探る (5-22) / 藤本義昭: ナリヒラダケの葯 (58-62) / 濱田 甫: 鹿児島県産竹類の新知見 (17) (66-70) / 村松幹夫: マダケ (*Pleioblastus simonii*) とマダケ (*Phyllostachys bambusoides*) のF1雑種の形態形質とナリヒラダケ属の起源 (71-82) / 小泉 晟: インターネットにみる竹類情報 (2) (83-92) / 藤本義昭: 台湾にマチクの花を訪ねて (132-142) / 方 志剛・王 義平: 中国竹害虫に関する研究の新進展 (英文) (146-154) / 濱田 甫: タイ北部チェンライの竹の利用 (155-163) / 大穂 一: 正金明斑について (164-167) / 稲田 徹: マラウイ南部における竹製品 (英文) (168-179) / 多賀直人: タイ国プーケット島のタケ (180-182) / 室井 紳: バンブー・ノート (40) (186-196)

○ ため池の自然

(〒444-0873 愛知県岡崎市竜美台2-14-2 松井邦郎方 ため池の自然研究会)

第33号 2001年6月—須賀瑛文: 水田産シャジクモ類の生態的特徴とその今昔 (6-7) / 榎岡義洋: 尾張北部の河川の水草 (予報) その3 (14-16) / 浜島繁隆・三浦康男: 名古屋市北東域のマメナシの自生地 (17-21)

第34号 2001年12月—土山ふみ: ため池の水質とその保全 (1-4)

○ 京都植物 第25巻

(京都植物同好会 幹事: 〒606-0026 京都府京都市左京区岩倉長谷町486 1F 1-3 田中 徹)

4号 2001年1月—村田 源・津軽俊介: 京都府新産植物12 (4-5) / 村田 源: 八丁平の調査報告書に追加する植物 (5) / 光田重幸・村田 源: 京都府のコモウセンゴケとトウカイコモウセンゴケ (6-11) / 小柳道子: [京都の植物方言調査] 北桑田郡京北町芹生における聞き書き (11-13) / 小柳道子: 粽の〈巻き草〉追記 (13-15) / 西沢信一: マメの思い出 (15-16) / 川辺龍太郎: 京都植物50周年記念事業樹木調査中間発表 (16-17) / 田中 徹: “最も美味なる根菜”とは? (18-19) / 田中 徹: 桂川宮前橋付近の貴重な植物 (19-20)

5号 2001年4月—村田 源: 京都府立植物園に残された竹内 敬先生の標本の再検討13 (5-8) / 津軽俊介: 冠島のハマゴウ (8-10) / 上島 裕: センノウを詮議する (10-12) / 本谷内 幸: [京都の植物方言調査] 白川街道方面その2 (ハンコソウとジュウレンコウ) (12-14) / 小柳道子: [京都の植物方言調査] 左京区花背・花背山の家協会における聞き書き (14-15) / 田中 徹: 抽水生のオオイヌタデ (15-17)

6号 2001年9月—村田 源: 京都府立植物園に残された竹内 敬先生の標本の再検討14 (5-8) / 光田重幸・村田 源・津軽俊介: 府内で70年ぶりに見つかったキクガラクサ (8-10) / 小柳道子: [京都の植物方

言調査] 左京区久多地方における聞き書き (10-12) / 村田 章・恵美子: 滋賀県の水草 (沈水生の水草を中心に) (12-18) / 田中 徹: サワグルミ属・ノグルミ属の芽ばえ (18)

○ 南紀生物 第 43 巻第 1 号 2001 年 6 月

(〒644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部 522-2 南紀生物同好会)

山本修平・大谷雄一: 紀伊半島における襲速紀要素植物の分布Ⅳヤハズアジサイ (75-76) / 北野一夫: 和歌山県すさみ町で採集したヒメカンガレイ (カヤツリグサ科) (82)

○ くろしお No.20 2001 年 9 月

(〒644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部 522-2 南紀生物同好会)

山本修平: マラ (イラクサ科) のこと (3) / 高須明子・村瀬ますみ・牧 敬子: 和歌山市のフォレストシティ計画開発地域の植物について (8-12) / 北野一夫: 長峰山脈のヒシ (ヒシ科) について (20) / 山本修平: 「紀州植物誌」(宇井縫藏著) のコバノテリハノイバラはミヤコイバラである (30) / 吉田元重: 雲南にクリカシを求めて (31-38)

○ 倉敷市立自然史博物館研究報告 第 16 号 2001 年 3 月

(〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1 倉敷市立自然史博物館)

高橋和成: 鳥取県大山のブナ林における変形菌の分布 (55-64) / 狩山俊悟・榎本 敬: 岡山県におけるレッドリスト 1997 掲載植物の現状 (2) (79-98) / 狩山俊悟・小島裕子・榎本 敬: 岡山県新産の帰化植物 (12) (107-109)

○ 徳島県立博物館研究報告 第 11 号 2001 年 3 月

(〒770-8070 徳島県徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 徳島県立博物館)

茨木 靖: ナルトオウギの発芽特性 (101-104)

○ 愛媛県総合科学博物館研究報告 第 6 号 2001 年 3 月

(〒792-0060 愛媛県新居浜市大生院 2133-2 愛媛県総合科学博物館)

小林真吾: 愛媛県西条市に生育する水草の現状 (予報) (33-37)

○ 宮崎県総合博物館研究紀要 第 22 輯 2001 年 3 月

(〒880-0053 宮崎県宮崎市神宮 2 丁目 4-4 宮崎県総合博物館)

南谷忠志: 宮崎県産植物ノート (6) 宮崎県を基準産地とする植物~2 (9-42) / 南谷忠志・赤塚愛子・清山フサ・栗林淳子・長野温子・日高寿々子・松本広樹・松元律子: 大淀川下流域の植物 (43-59) / 南谷忠志: 宮崎県産植物ノート (7) 日本新産の 2 植物: ヒュウガサンショウソウ・タカナベイ (61-81) / 南谷忠志: 家田・川坂湿原の植物 (1) (83-104) / 黒木秀一: 宮崎県石灰岩地帯の植物 (2) (105-126) / 木口博史・黒木秀一: 宮崎県石灰岩地帯の蘚類について (127-142) / 長尾英幸・黒木秀一: 宮崎県および隣接域の盤菌類 (1) (143-151) / 荒木徳蔵: 宮崎県の帰化植物新目録 (2) (153-161)

○ 沖縄生物学会誌 第 39 号 2001 年 4 月

(〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原 1 琉球大学理学部海洋自然科学科内 沖縄生物学会)

立石庸一・横田昌嗣・新城和治・平岩 篤・新納義馬: 沖縄県硫黄島島の植物相とその構成種の散布様式 (49-76) / 立石庸一・横田昌嗣・新城和治・平岩 篤・新納義馬: 沖縄県硫黄島島で見いだされた分類学的あるいは植物地理学的に注目される維管束植物 (77-92) / 小林史郎・横田昌嗣: 琉球列島植物分布資料 16 (99-102)

(訂正) 第 49 巻第 1 号 74 頁: 比婆科学「第 198 号」→「第 200 号」

(編集部 中田政司編)